

## 令和元年度 区内の温室効果ガス排出量算定結果について

### 1 温室効果ガス（二酸化炭素）排出量

都内の市区町村が連携・協働して取り組むオール東京 62 市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」において平成 19 年度から 62 市区町村別に排出量を算定・公表しています。

「新宿区第三次環境基本計画」における区の排出削減目標の基準年度である 2013 年度の排出量とデータが公表されている直近 2 年の排出量を比較すると以下のとおりとなります。

(単位：1,000 t -CO<sub>2</sub>)

排出量	年度 2013 (H25)	2018 (H30)		2019 (R 元)				
			13 年度比	13 年度比		前年度比		
				増 減	増減率	増 減	増減率	
産業部門	99	51	△48.5%	60	△39	△39.4%	9	17.6%
民生部門	2,579	2,196	△14.9%	2,093	△486	△18.8%	△103	△4.7%
家庭	633	543	△14.2%	526	△107	△16.9%	△17	△3.1%
業務	1,947	1,653	△15.1%	1,566	△381	△19.6%	△87	△5.3%
運輸部門	453	377	△16.8%	359	△94	△20.8%	△18	△4.8%
廃棄物部門	70	78	11.4%	83	13	8.6%	5	6.4%
合計	3,201	2,702	△15.6%	2,595	△606	△18.9%	△107	△4.0%

### 2 二酸化炭素排出量の主な変動要因（前年度比）

(1) 電力の二酸化炭素排出係数※の改善により排出量全体が減少

※二酸化炭素排出係数・・発電量 1 kWh 当たりの二酸化炭素排出量

(2) 業務部門における延床面積当たりエネルギー消費量の減少

(3) 家庭部門における世帯当たりエネルギー消費量の減少

### 3 各区の温室効果ガス（二酸化炭素）排出量（2019 年度）

(単位：1,000 t -CO<sub>2</sub>)

